

2012年度尼崎医療生活協看護部総会開催（2012/04/16）



4月14日（土）午後、尼崎市「女性センター・トレビエ」にて尼崎医療生活協同組合看護部総会を開催しました。総会では、2011年度の法人看護部のまとめと各事業所群（病院・診療所・訪問看護ST・老健・特養）のまとめ、2012年度の方針を報告しました。また、今年度の総会では、1年6ヶ月かけて見直した看護政策（第2版）を配布し、改定に至った経緯や、内容について報告しました。報告の後は、少人数のグループで、看護政策および「求められる看護師像」について討論を行いました。



改定された看護政策

看護政策「第2版」の報告を行う
病院副総師長小林優子さん

参加者からは「原点に戻り、目指す看護を明確にし、今後も成長していきたい。職場に持ち帰り、看護政策の読み合わせもしたい」「求められる看護師像に近づくために、大きくなった看護集団がいかに各々の役割を果たすかが鍵だと思いました。」「看護師が離職しないために働きやすい職場作りに励む事は大切」「看護政策については、求められている事、実践すべき事が明示されており理解しやすかった」などの意見が出されました。また、診療所、訪問看護ステーションなど様々な事業所の看護師が交流したことで「様々な立場の看護師がたくさん集まった『こんなにたくさんの看護師と一緒に働いている』と新たに頑張りたい気持ちになった。病院にいと視野が狭くなり、視点が疾患や現在の患者様しか見られない部分があるが、今回視野の広い看護観について話せて有意義だった。立場は違っても患者様を中心とした看護を追求していきたい。という感想が多数寄せられました。



グループディスカッションや、発表の様子